

市民伝言板

市民伝言板は、サークル会員の募集やイベント情報を掲載するコーナーです。みなさんからの投稿をお待ちしています。

注意事項▶①営利目的や政治活動、宗教関係のもの ②特定の人や団体のみを対象としたもの ③公序良俗に反するなど、行政広報の公共性、公益性を損なう恐れがあるものは、掲載できません。
その他、申し込み方法など詳しくは、秘書課広報広聴係まで。

時とき 場ところ ￥会費・入場料など 定定員・募集人数
対対象 講講師 他その他 申申し込み方法など 問問い合わせ先

榎前あれこれ 加藤博挿絵展

町内情報誌「えのき」連載コーナー「榎前あれこれ」の挿絵展。
時12月5日(金)～7日(日)午前9時～午後9時(7日は午後5時まで) 場文化センター
問榎前町内会(☎<92>0077)

パルーンアート教室参加者募集

細長い風船20個使用して、クリスマス用飾りを習います。
時12月21日(日)午後1時30分
場市総合福祉センター 定30人
￥500円 問ででむし深谷さん(☎<72>0816)

市民活動わくわくサロン

人がすべて～地域の才能をボランティアでいかす～
時1月30日(金)午後6時30分
場秋葉レストハウス 定15人
講織田元樹氏 問市民活動センター(☎<71>0601)

愛社労 年金労務無料相談会

年金問題をはじめ、労働・社会保険などの専門家が無料で相談に応じます。
時12月7日(日)午前10時～午後3時 場アピタ安城南店2階
問深津繁美さん(☎<76>4666)

第6回安笑落語会

老人ホーム、保健施設、町内会行事などで落語をしています。
時12月21日(日)午後2時～4時
場昭林公民館 対小学生以上
問平松宣和さん(☎<74>6530)

”ママとなかよし”無料体験

新メンバー募集の体験です。
時1～2月の(木)(金)午前10時～11時30分 場市総合福祉センター、昭林公民館 対2歳以上の子
もとその親 他要予約 問西埜仲津子さん(☎090<9941>5401)

ぷらざ三河安城1日体験教室

健康づくりや趣味など、気になる教室を体験してみませんか。
時12月7日(日)～13日(日)午前9時～午後5時 ￥1回500円
場問ぷらざ三河安城(☎<74>6911)

市民スキー教室参加者募集

市スキー連盟主催の教室です。
時1月9日(金)午後8時～11日(日)午後9時 場白馬五竜スキー場
￥中学生以上→2万3000円、小学生以下→2万1000円
問和田スポーツ(☎<97>0279)

園児向けチアダンス教室

11月より本格始動。柔軟性・協調性・リズム感を養います。
時毎週(木)午後3時30分～4時15分 場市総合福祉センター
￥月額2500円 対年中・年長児
問神谷さん(☎090<9182>8734)

第2回夕照会書展

横山夕葉教室の作品展。手島右卿ほか10人の作品を特別展示。
時12月10日(木)～14日(日)午前9時～午後5時(14日は午後4時まで) 場市民ギャラリー
問都築心扇さん(☎<99>0317)

りらくご(落語会)

桂こころう、桂紅雀ほか出演。
時1月10日(日)午後3時 場文化センター ￥前売り2000円、当日2500円 問りらくご事務局服部さん(平日の午後4時～7時のみ☎090<6078>9257)

社交ダンス友の会 財団

健康と親睦のためダンスを楽しんでみませんか。
時毎週(木)午前10時～正午 場市総合福祉センター ￥月額3000円 講塚本知予子氏 問神谷時子さん(☎090<2130>9856)

サークル紹介

安城・暮らしと耐震協議会

耐震補強なくして減災はなし！

この協議会は、建築の専門家を中心に、まちづくりや防災、環境などで活動する皆さんと協働して、耐震診断、耐震補強など、市民の視点から情報サービスを提供する、県内初のボランティア団体です。現在は、作りながら耐震が分かるキットの開発と、市民企画講座を開催しています。また、来年2月予定の第2回市民耐震フォーラム開催に向け準備中です。楽しくてちょっぴりためになるフォーラムですので、ぜひ皆さん

もご来場ください。

時毎月第4(木)午後7時～8時30分
場市総合福祉センター ￥年額1000円 問山下眞志さん(☎090<7863>4646)



輝いてます

都築真美さん(安城生活福祉高等専修学校3年)

全国高校生・高等専修学校「私のしごと」作文コンクールで特選

全国からの応募総数5062点。都築さんは、特選の1つである特定非営利活動法人NPO高等専修教育支援協会理事長賞を受賞しました。

●きっかけは姉

実は、わたしは不登校だったんです。そんなわたしが立ち直ったきっかけの1つが姉でした。2歳違いの姉は障害者。養護学校を卒業後、社会人として、毎日仕事の研修に1人で通勤していました。辛そうな顔をしながらも、自立しようがんばっている姿をみて、わたしより、よっぽど姉のほうがしっかりしていたんだ、と気づかされたんです。姉のそんな姿を見て「自分もがんばろう」と。2年生の後半から再び学校に通い始め、今では、学校生活がとても楽しくなっています。

●気持ちを素直に

この作文を書くのに、はじめは

抵抗感がありました。けれど、心の弱かった今までの自分を乗り越えたい、と頭に思い浮かんだ自分の気持ちを素直に書きました。受賞を聞いた瞬間は、あまり実感が湧いてこなかったのですが、家族がすごく喜んで。姉も、自分のことのように喜んでくれました。とてもうれしくなりました。

●1人の人間として

障害者に対する、社会の理解がゆがんでいるのがとても気になります。わたしが姉から教えられたように、1人の人間として見られる、そんな社会が実現してほしいです。

●将来

今後は介護保育の

部門に行きたいと考えています。卒業後は専門学校へ。幼児福祉の勉強をして、訪問介護員と幼稚園教諭の免許を取得し、将来、障害児保育の仕事につきたいです。

